

新旧対照表 (案)

新

旧

P137

P136

③ バスドライバーの確保		目標③に対応
目的等	公共交通の維持・確保に必要なバスドライバーを確保していくため、バスドライバーの新規採用に向けた広報や就職活動イベントなど、バスドライバーの魅力や労働環境、社会的な重要性などの情報発信を行う。	
取組概要	<p>●バスドライバーの魅力などの発信</p> <p>バスドライバーという仕事に興味を持ってもらえるように、業務内容やバスドライバーへの道のり等を紹介する広報資料の作成や配布、就職活動イベントの開催など、バスドライバーの人材確保に向けた取組みを実施する。</p>  <p>資料：北海道バス協会ホームページ</p> <p>■北海道バス協会では、主に大学生や高校生などの方を対象に、バスの運転業務に興味を持っていただくため、バス運転手への道のりや業務内容を紹介した「キャリアバスガイド」やバス運転手目録を体験できる「VR 動画」等を作成している。</p> <p>■バスドライバーの確保対策として、平成 29 年度以降、北海道バス協会と交通事業者、北海道等が連携し、北海道内の各地で「バス運転手体験 &amp; 合同就職相談会」を実施している。</p> 	
	取組主体 (事業実施 団体・連携 団体・協力 団体等)	北海道、市町村、交通事業者、北海道バス協会
取組内容	北海道後志地域公共交通活性化協議会	<p>■路線の運行に係る欠損額以外にも大きな課題となっている運転手の確保について、関係者が連携しながら、潜在的な人材発掘も含めた担い手の確保策について検討し、具体的取組を行っていく</p>

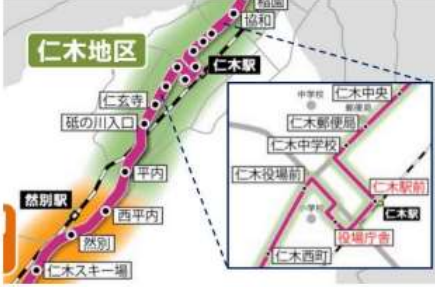
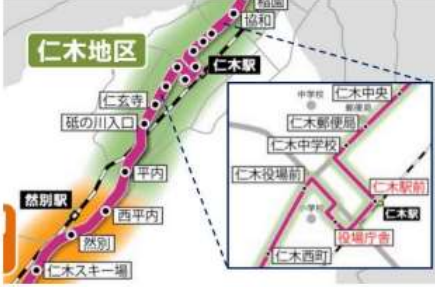
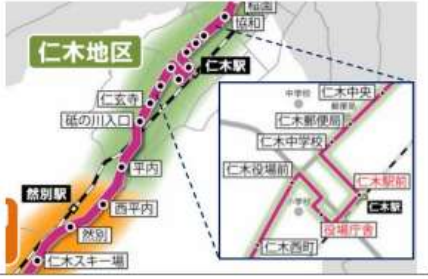
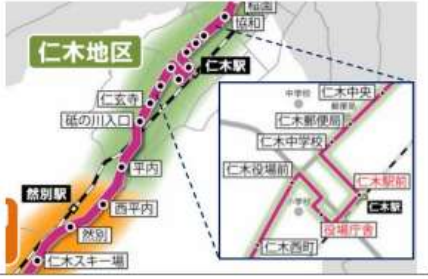
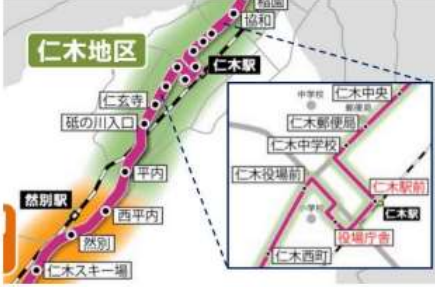
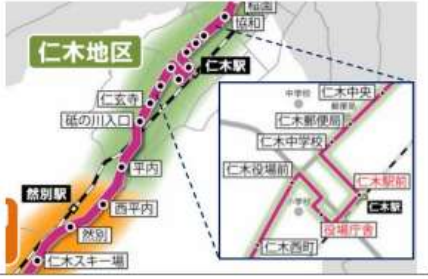
③ バスドライバーの確保		目標③に対応										
概要	公共交通の維持・確保に必要なバスドライバーを確保していくため、バスドライバーの新規採用に向けた広報や就職活動イベントなど、バスドライバーの魅力や労働環境、社会的な重要性などの情報発信を行う。											
具体的な内容	<p>●バスドライバーの魅力などの発信</p> <p>バスドライバーという仕事に興味を持ってもらえるように、業務内容やバスドライバーへの道のり等を紹介する広報資料の作成や配布、就職活動イベントの開催など、バスドライバーの人材確保に向けた取組みを実施する。</p>  <p>資料：北海道バス協会ホームページ</p> <p>■北海道バス協会では、主に大学生や高校生などの方を対象に、バスの運転業務に興味を持っていただくため、バス運転手への道のりや業務内容を紹介した「キャリアバスガイド」やバス運転手目録を体験できる「VR 動画」等を作成している。</p> <p>■バスドライバーの確保対策として、平成 29 年度以降、北海道バス協会と交通事業者、北海道等が連携し、北海道内の各地で「バス運転手体験 &amp; 合同就職相談会」を実施している。</p> 											
	実施主体 及び 連携団体 協力団体	北海道、市町村、交通事業者、北海道バス協会										
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2022 (令和 4) 年度</th> <th>2023 (令和 5) 年度</th> <th>2024 (令和 6) 年度</th> <th>2025 (令和 7) 年度</th> <th>2026 (令和 8) 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">各社のバスドライバーの確保状況に応じて、適宜、情報発信などの取組実施</td> </tr> </tbody> </table>		2022 (令和 4) 年度	2023 (令和 5) 年度	2024 (令和 6) 年度	2025 (令和 7) 年度	2026 (令和 8) 年度	各社のバスドライバーの確保状況に応じて、適宜、情報発信などの取組実施				
2022 (令和 4) 年度	2023 (令和 5) 年度	2024 (令和 6) 年度	2025 (令和 7) 年度	2026 (令和 8) 年度								
各社のバスドライバーの確保状況に応じて、適宜、情報発信などの取組実施												

新旧対照表 (案)

新		旧																																				
P138	北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人材確保に向けた就職活動イベントの開催や移住希望者等も含めた幅広い情報発信の実施</li> <li>・北海道バス協会や事業者との共催等により「バス運転手合同採用説明会」や「バス事業所職場体験会」開催の検討・実施</li> <li>・動画を活用したバス路線の魅力発信の検討・実施</li> <li>・北海道バス協会と連携し「バス運転手キャリアバスガイド」を活用した若年層向けのPR</li> <li>・イベントの実施について、ホームページ（移住関係含）やSNSで周知</li> <li>■他地域の優良事例などを収集し共有</li> </ul>																																				
	市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>■北海道や北海道バス協会・バス事業者が実施するイベント等の情報について、ホームページやチラシ等媒体の頒布により、周知を行う</li> <li>■市町村の広報誌を活用して求人広告等を実施</li> </ul>																																				
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各種求人広告の展開</li> <li>・ホームページやその他求人広告（新聞、求人誌、バス車体ステッカー、車内ポスター等）によるPRやハローワークを活用した求人広告の実施</li> <li>・「バス運転手合同採用説明会」への参加</li> <li>■人材確保に向けた職場体験会の開催</li> </ul>																																				
	北海道バス協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人材確保に向けた就職活動イベントの開催や情報発信の実施</li> <li>・「バス運転手合同採用説明会」を実施</li> <li>・イベントの実施について、ホームページやSNSで周知</li> </ul>																																				
	スガール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>2022 (令和4)年度</th> <th>2023 (令和5)年度</th> <th>2024 (令和6)年度</th> <th>2025 (令和7)年度</th> <th>2026 (令和8)年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">バスドライバーの魅力などの発信</td> <td></td> <td>取組事例の共有 新たな取組の検討</td> <td></td> <td>取組の実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">合同採用説明会 毎年度実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">広報・情報発信</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">後志地域でのバス事業所職場体験会開催の検討・実施 動画を活用したバス路線の魅力発信の検討・実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">バス運転手キャリアバスガイドを活用したPR</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>		取組内容	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	2025 (令和7)年度	2026 (令和8)年度	バスドライバーの魅力などの発信		取組事例の共有 新たな取組の検討		取組の実施			合同採用説明会 毎年度実施					広報・情報発信					後志地域でのバス事業所職場体験会開催の検討・実施 動画を活用したバス路線の魅力発信の検討・実施					バス運転手キャリアバスガイドを活用したPR						
取組内容	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	2025 (令和7)年度	2026 (令和8)年度																																	
バスドライバーの魅力などの発信		取組事例の共有 新たな取組の検討		取組の実施																																		
		合同採用説明会 毎年度実施																																				
		広報・情報発信																																				
		後志地域でのバス事業所職場体験会開催の検討・実施 動画を活用したバス路線の魅力発信の検討・実施																																				
		バス運転手キャリアバスガイドを活用したPR																																				
					(増ページ)																																	



新旧対照表 (案)

新	旧																												
<p>P139</p> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="152 272 808 304">④ 幹線・広域・生活圏交通間の乗換環境の向上</th> <th data-bbox="808 272 994 304">目標④⑤に対応</th> </tr> <tr> <td data-bbox="152 304 257 411"> <p><b>目的等</b></p> </td> <td data-bbox="257 304 994 411"> <p>幹線交通と広域交通、生活圏交通の3つの階層による公共交通ネットワークを強化し、利便性の向上を図るべく、これらの交通間の接続性の向上や、交通拠点の機能強化等により、乗換環境の向上を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 411 257 1380"> <p><b>取組概要</b></p> </td> <td data-bbox="257 411 994 1380"> <p>●<b>幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点の機能強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後志地域の公共交通ネットワークにおける中心都市（小樽市・倶知安町・岩内町・余市町・長万部町）は、幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点となることから、バス乗降場の集約やバスターミナル再整備など、拠点機能を強化し、利用者の利便性・快適性の向上を図る。</li> <li>■小樽市では、「JR 小樽駅前広場再整備基本計画」の策定に向けて検討を実施中、2030（令和12）年度の北海道新幹線札幌開業を見据えて、倶知安町では「北海道新幹線倶知安駅周辺整備計画」、長万部町では「新幹線駅周辺整備計画」を策定済み</li> <li>余市町では、「余市町地域公共交通計画」において、「JR 余市駅における交通結節点機能の強化」の取組を掲げている。</li> </ul> <p>●<b>ダイヤ見直しや新たな生活圏交通の導入等による広域交通と生活圏交通の接続性向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス運行者間で運行ダイヤ等の情報共有を図りながら、既存の生活圏交通の運行ルート見直しやダイヤ変更等を行うことで、広域交通との空間的・時間的なアクセス性の向上を図り、利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>鉄道や高速・路線バスなどの広域交通を容易に利用できない公共交通の空白地域においては、各市町村において、地域公共交通計画（市町村単独計画）を策定し、コミュニティバスやデマンド交通などを導入するなど、市町村の中心部や広域交通にアクセスできる生活圏交通の確保のための検討を進める。</li> <li>■仁木町が運行している予約制バス「ニキバス」は、2020（令和2）年5月のダイヤ・運行ルート変更の際に、仁木駅に直接アクセスするルートに変更し、各交通モード間のアクセス性の向上を図っている。</li> </ul>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="152 1380 257 1528"> <p><b>取組主体（事業実施団体・連携団体・協力団体等）</b></p> </td> <td data-bbox="257 1380 994 1528"> <p>国、北海道、市町村、交通事業者</p> </td> </tr> </table>	④ 幹線・広域・生活圏交通間の乗換環境の向上	目標④⑤に対応	<p><b>目的等</b></p>	<p>幹線交通と広域交通、生活圏交通の3つの階層による公共交通ネットワークを強化し、利便性の向上を図るべく、これらの交通間の接続性の向上や、交通拠点の機能強化等により、乗換環境の向上を図る。</p>	<p><b>取組概要</b></p>	<p>●<b>幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点の機能強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後志地域の公共交通ネットワークにおける中心都市（小樽市・倶知安町・岩内町・余市町・長万部町）は、幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点となることから、バス乗降場の集約やバスターミナル再整備など、拠点機能を強化し、利用者の利便性・快適性の向上を図る。</li> <li>■小樽市では、「JR 小樽駅前広場再整備基本計画」の策定に向けて検討を実施中、2030（令和12）年度の北海道新幹線札幌開業を見据えて、倶知安町では「北海道新幹線倶知安駅周辺整備計画」、長万部町では「新幹線駅周辺整備計画」を策定済み</li> <li>余市町では、「余市町地域公共交通計画」において、「JR 余市駅における交通結節点機能の強化」の取組を掲げている。</li> </ul> <p>●<b>ダイヤ見直しや新たな生活圏交通の導入等による広域交通と生活圏交通の接続性向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス運行者間で運行ダイヤ等の情報共有を図りながら、既存の生活圏交通の運行ルート見直しやダイヤ変更等を行うことで、広域交通との空間的・時間的なアクセス性の向上を図り、利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>鉄道や高速・路線バスなどの広域交通を容易に利用できない公共交通の空白地域においては、各市町村において、地域公共交通計画（市町村単独計画）を策定し、コミュニティバスやデマンド交通などを導入するなど、市町村の中心部や広域交通にアクセスできる生活圏交通の確保のための検討を進める。</li> <li>■仁木町が運行している予約制バス「ニキバス」は、2020（令和2）年5月のダイヤ・運行ルート変更の際に、仁木駅に直接アクセスするルートに変更し、各交通モード間のアクセス性の向上を図っている。</li> </ul> 	<p><b>取組主体（事業実施団体・連携団体・協力団体等）</b></p>	<p>国、北海道、市町村、交通事業者</p>	<p>P137</p> <table border="1"> <tr> <th data-bbox="1272 272 1906 304">④ 幹線・広域・生活圏交通間の乗換環境の向上</th> <th data-bbox="1906 272 2092 304">目標④⑤に対応</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1272 304 1377 411"> <p><b>概要</b></p> </td> <td data-bbox="1377 304 2092 411"> <p>幹線交通と広域交通、生活圏交通の3つの階層による公共交通ネットワークを強化し、利便性の向上を図るべく、これらの交通間の接続性の向上や、交通拠点の機能強化等により、乗換環境の向上を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1272 411 1377 1316"> <p><b>具体的な内容</b></p> </td> <td data-bbox="1377 411 2092 1316"> <p>●<b>幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点の機能強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後志地域の公共交通ネットワークにおける中心都市（小樽市・倶知安町・岩内町・余市町・長万部町）は、幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点となることから、バス乗降場の集約やバスターミナル再整備など、拠点機能を強化し、利用者の利便性・快適性の向上を図る。</li> <li>■小樽市では、「JR 小樽駅前広場再整備基本計画」の策定に向けて検討を実施中、2030（令和12）年度の北海道新幹線札幌開業を見据えて、倶知安町では「北海道新幹線倶知安駅周辺整備計画」、長万部町では「新幹線駅周辺整備計画」を策定済み</li> <li>余市町では、「余市町地域公共交通計画」において、「JR 余市駅における交通結節点機能の強化」の取組を掲げている。</li> </ul> <p>●<b>ダイヤ見直しや新たな生活圏交通の導入等による広域交通と生活圏交通の接続性向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス運行者間で運行ダイヤ等の情報共有を図りながら、既存の生活圏交通の運行ルート見直しやダイヤ変更等を行うことで、広域交通との空間的・時間的なアクセス性の向上を図り、利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>鉄道や高速・路線バスなどの広域交通を容易に利用できない公共交通の空白地域においては、各市町村において、地域公共交通計画（市町村単独計画）を策定し、コミュニティバスやデマンド交通などを導入するなど、市町村の中心部や広域交通にアクセスできる生活圏交通の確保のための検討を進める。</li> <li>■仁木町が運行している予約制バス「ニキバス」は、2020（令和2）年5月のダイヤ・運行ルート変更の際に、仁木駅に直接アクセスするルートに変更し、生活圏交通と広域交通（JR）のアクセス性の向上を図っている。</li> </ul>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1272 1316 1377 1420"> <p><b>実施主体及び連携団体協力団体</b></p> </td> <td data-bbox="1377 1316 2092 1420"> <p>国、北海道、市町村、交通事業者</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1272 1420 1377 1528"> <p><b>スケジュール</b></p> </td> <td data-bbox="1377 1420 2092 1528"> <table border="1"> <tr> <th>2022（令和4）年度</th> <th>2023（令和5）年度</th> <th>2024（令和6）年度</th> <th>2025（令和7）年度</th> <th>2026（令和8）年度</th> </tr> <tr> <td colspan="5">各市町村の交通拠点の整備計画等に合わせて、適宜、検討・整備を実施</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	④ 幹線・広域・生活圏交通間の乗換環境の向上	目標④⑤に対応	<p><b>概要</b></p>	<p>幹線交通と広域交通、生活圏交通の3つの階層による公共交通ネットワークを強化し、利便性の向上を図るべく、これらの交通間の接続性の向上や、交通拠点の機能強化等により、乗換環境の向上を図る。</p>	<p><b>具体的な内容</b></p>	<p>●<b>幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点の機能強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後志地域の公共交通ネットワークにおける中心都市（小樽市・倶知安町・岩内町・余市町・長万部町）は、幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点となることから、バス乗降場の集約やバスターミナル再整備など、拠点機能を強化し、利用者の利便性・快適性の向上を図る。</li> <li>■小樽市では、「JR 小樽駅前広場再整備基本計画」の策定に向けて検討を実施中、2030（令和12）年度の北海道新幹線札幌開業を見据えて、倶知安町では「北海道新幹線倶知安駅周辺整備計画」、長万部町では「新幹線駅周辺整備計画」を策定済み</li> <li>余市町では、「余市町地域公共交通計画」において、「JR 余市駅における交通結節点機能の強化」の取組を掲げている。</li> </ul> <p>●<b>ダイヤ見直しや新たな生活圏交通の導入等による広域交通と生活圏交通の接続性向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス運行者間で運行ダイヤ等の情報共有を図りながら、既存の生活圏交通の運行ルート見直しやダイヤ変更等を行うことで、広域交通との空間的・時間的なアクセス性の向上を図り、利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>鉄道や高速・路線バスなどの広域交通を容易に利用できない公共交通の空白地域においては、各市町村において、地域公共交通計画（市町村単独計画）を策定し、コミュニティバスやデマンド交通などを導入するなど、市町村の中心部や広域交通にアクセスできる生活圏交通の確保のための検討を進める。</li> <li>■仁木町が運行している予約制バス「ニキバス」は、2020（令和2）年5月のダイヤ・運行ルート変更の際に、仁木駅に直接アクセスするルートに変更し、生活圏交通と広域交通（JR）のアクセス性の向上を図っている。</li> </ul> 	<p><b>実施主体及び連携団体協力団体</b></p>	<p>国、北海道、市町村、交通事業者</p>	<p><b>スケジュール</b></p>	<table border="1"> <tr> <th>2022（令和4）年度</th> <th>2023（令和5）年度</th> <th>2024（令和6）年度</th> <th>2025（令和7）年度</th> <th>2026（令和8）年度</th> </tr> <tr> <td colspan="5">各市町村の交通拠点の整備計画等に合わせて、適宜、検討・整備を実施</td> </tr> </table>	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	各市町村の交通拠点の整備計画等に合わせて、適宜、検討・整備を実施				
④ 幹線・広域・生活圏交通間の乗換環境の向上	目標④⑤に対応																												
<p><b>目的等</b></p>	<p>幹線交通と広域交通、生活圏交通の3つの階層による公共交通ネットワークを強化し、利便性の向上を図るべく、これらの交通間の接続性の向上や、交通拠点の機能強化等により、乗換環境の向上を図る。</p>																												
<p><b>取組概要</b></p>	<p>●<b>幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点の機能強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後志地域の公共交通ネットワークにおける中心都市（小樽市・倶知安町・岩内町・余市町・長万部町）は、幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点となることから、バス乗降場の集約やバスターミナル再整備など、拠点機能を強化し、利用者の利便性・快適性の向上を図る。</li> <li>■小樽市では、「JR 小樽駅前広場再整備基本計画」の策定に向けて検討を実施中、2030（令和12）年度の北海道新幹線札幌開業を見据えて、倶知安町では「北海道新幹線倶知安駅周辺整備計画」、長万部町では「新幹線駅周辺整備計画」を策定済み</li> <li>余市町では、「余市町地域公共交通計画」において、「JR 余市駅における交通結節点機能の強化」の取組を掲げている。</li> </ul> <p>●<b>ダイヤ見直しや新たな生活圏交通の導入等による広域交通と生活圏交通の接続性向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス運行者間で運行ダイヤ等の情報共有を図りながら、既存の生活圏交通の運行ルート見直しやダイヤ変更等を行うことで、広域交通との空間的・時間的なアクセス性の向上を図り、利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>鉄道や高速・路線バスなどの広域交通を容易に利用できない公共交通の空白地域においては、各市町村において、地域公共交通計画（市町村単独計画）を策定し、コミュニティバスやデマンド交通などを導入するなど、市町村の中心部や広域交通にアクセスできる生活圏交通の確保のための検討を進める。</li> <li>■仁木町が運行している予約制バス「ニキバス」は、2020（令和2）年5月のダイヤ・運行ルート変更の際に、仁木駅に直接アクセスするルートに変更し、各交通モード間のアクセス性の向上を図っている。</li> </ul> 																												
<p><b>取組主体（事業実施団体・連携団体・協力団体等）</b></p>	<p>国、北海道、市町村、交通事業者</p>																												
④ 幹線・広域・生活圏交通間の乗換環境の向上	目標④⑤に対応																												
<p><b>概要</b></p>	<p>幹線交通と広域交通、生活圏交通の3つの階層による公共交通ネットワークを強化し、利便性の向上を図るべく、これらの交通間の接続性の向上や、交通拠点の機能強化等により、乗換環境の向上を図る。</p>																												
<p><b>具体的な内容</b></p>	<p>●<b>幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点の機能強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後志地域の公共交通ネットワークにおける中心都市（小樽市・倶知安町・岩内町・余市町・長万部町）は、幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点となることから、バス乗降場の集約やバスターミナル再整備など、拠点機能を強化し、利用者の利便性・快適性の向上を図る。</li> <li>■小樽市では、「JR 小樽駅前広場再整備基本計画」の策定に向けて検討を実施中、2030（令和12）年度の北海道新幹線札幌開業を見据えて、倶知安町では「北海道新幹線倶知安駅周辺整備計画」、長万部町では「新幹線駅周辺整備計画」を策定済み</li> <li>余市町では、「余市町地域公共交通計画」において、「JR 余市駅における交通結節点機能の強化」の取組を掲げている。</li> </ul> <p>●<b>ダイヤ見直しや新たな生活圏交通の導入等による広域交通と生活圏交通の接続性向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス運行者間で運行ダイヤ等の情報共有を図りながら、既存の生活圏交通の運行ルート見直しやダイヤ変更等を行うことで、広域交通との空間的・時間的なアクセス性の向上を図り、利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>鉄道や高速・路線バスなどの広域交通を容易に利用できない公共交通の空白地域においては、各市町村において、地域公共交通計画（市町村単独計画）を策定し、コミュニティバスやデマンド交通などを導入するなど、市町村の中心部や広域交通にアクセスできる生活圏交通の確保のための検討を進める。</li> <li>■仁木町が運行している予約制バス「ニキバス」は、2020（令和2）年5月のダイヤ・運行ルート変更の際に、仁木駅に直接アクセスするルートに変更し、生活圏交通と広域交通（JR）のアクセス性の向上を図っている。</li> </ul> 																												
<p><b>実施主体及び連携団体協力団体</b></p>	<p>国、北海道、市町村、交通事業者</p>																												
<p><b>スケジュール</b></p>	<table border="1"> <tr> <th>2022（令和4）年度</th> <th>2023（令和5）年度</th> <th>2024（令和6）年度</th> <th>2025（令和7）年度</th> <th>2026（令和8）年度</th> </tr> <tr> <td colspan="5">各市町村の交通拠点の整備計画等に合わせて、適宜、検討・整備を実施</td> </tr> </table>	2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	各市町村の交通拠点の整備計画等に合わせて、適宜、検討・整備を実施																						
2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度																									
各市町村の交通拠点の整備計画等に合わせて、適宜、検討・整備を実施																													

新旧対照表（案）

新

旧

P140

(増ページ)

取組内容	北海道 後志地域 公共交通 活性化協議会	■乗換拠点の機能を強化し、生活圏から幹線交通までの利用をスムーズに行うことができる環境の構築に取り組む				
	国	■各市町村が単独計画に基づき生活圏交通の見直しや乗継環境の整備等を実施する場合において、必要な助言（運行費補助や許認可にあたっての助言など）を行う				
	北海道	■後志地域公共交通活性化協議会分科会でされる幹線・広域・生活圏交通の乗換環境向上に係る議論を踏まえて調整や助言を行う				
	市町村	■各市町村における実情やニーズに応じて、幹線交通と広域・生活圏交通の乗換拠点への機能集約などにより、拠点機能を強化することで、利用者の利便性・快適性の向上を図る【後志地域公共交通活性化協議会分科会で行う】 ■市町村単独計画に基づく乗換環境向上や公共交通空白地域対策など、生活圏交通の利便性向上や確保に向けた取組を進める				
	交通事業者	■乗車人員など利用動向に係るデータ等（実態調査結果等）の後志地域公共交通活性化協議会分科会への提供 ■後志地域公共交通活性化協議会分科会での意見や利用実態を踏まえたダイヤ改正の実施				
スケジュール	取組内容	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	2025 (令和7)年度	2026 (令和8)年度
	幹線交通と 広域交通・ 生活圏交通 の乗換拠点 の機能強化	後志地域公共交通 活性化協議会 分科会設置 ←→	拠点機能強化の検討・実施 ←→			
	広域交通と 生活圏交通 の接続性 向上	後志地域公共交通 活性化協議会 分科会設置 ←→	ルート・ダイヤ見直し検討・実施 ←→ 公共交通空白地域対策検討・実施 ←→			



新旧対照表 (案)

新

旧

P141

P138

⑤ 公共交通利用の意識醸成を図る広報活動		目標⑤に対応
<b>目的等</b>	通院・買物等の日常的な移動における公共交通利用の意識付けや、公共交通を利用しやすい環境づくりなど、公共交通の利用促進のための広報活動を検討し <b>取組を進める。</b>	
<b>取組概要</b>	<p>●<b>広報活動による公共交通の利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通マップや総合時刻表等の作成・配布や、自動者運転免許証の自主返納の促進、バス乗り方教室の開催などの広報活用により、公共交通の利用促進を図る。</li> </ul> <p>■<b>乗継も考慮した公共交通マップや総合時刻表等の作成・配布</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村等の特定エリアで運行されている各種公共交通のルートや時刻表、料金などを横断的に整理した分かりやすい公共交通マップや総合時刻表等を作成し、地域住民に配布することで、地域住民の公共交通に対する理解を深め、利用に対する抵抗感を解消する。</li> <li>共和町では、町内および町民の来訪が多い岩内町・倶知安町の中心部までを対象に、対象エリアの主要施設と町内を含めて運行している路線バス（北海道中央バス、ニセコバス）の路線図、運賃表などを掲載したバスマップと、それらの路線バスや岩内町の「ノッタライン」のダイヤを整理した総合時刻表を作成・広報している。</li> </ul> <p>■<b>自動者運転免許証の自主返納の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者による交通事故が多発している点からも高齢者の自動者運転免許証の自主返納を促す取組を実施し、公共交通利用への転換を図る。</li> <li>岩内町では、運転免許証の自主返納を促す取組として、自主返納した方へのノッタライン等無料乗車券の交付を行っている。</li> </ul> <p>■<b>地域を対象とした公共交通の乗り方教室等の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスの乗り方やお得な乗車券、バス運行の現状や役割など、バス等の公共交通の重要性を理解してもらい、便利に利用してもらうための講習会などを実施する。</li> <li>北海道中央バスでは、地域の方々に安心してバスを利用してもらうため、バスに関する出前講座を受け付けており、後志地域では 2014（平成 26）年に余市町（沢町第一区会）で開催している。</li> </ul>	
	<b>取組主体（事業実施団体・連携団体・協力団体等）</b>	北海道、市町村、交通事業者

⑤ 公共交通利用の意識醸成を図る広報活動		目標⑤に対応										
<b>概要</b>	通院・買物等の日常的な移動における公共交通利用の意識付けや、公共交通を利用しやすい環境づくりなど、公共交通の利用促進のための広報活動を検討する。											
<b>具体的な内容</b>	<p>●<b>広報活動による公共交通の利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通マップや総合時刻表等の作成・配布や、自動者運転免許証の自主返納の促進、バス乗り方教室の開催などの広報活用により、公共交通の利用促進を図る。</li> </ul> <p>■<b>乗継も考慮した公共交通マップや総合時刻表等の作成・配布</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村等の特定エリアで運行されている各種公共交通のルートや時刻表、料金などを横断的に整理した分かりやすい公共交通マップや総合時刻表等を作成し、地域住民に配布することで、地域住民の公共交通に対する理解を深め、利用に対する抵抗感を解消する。</li> <li>共和町では、町内および町民の来訪が多い岩内町・倶知安町の中心部までを対象に、対象エリアの主要施設と町内を含めて運行している路線バス（北海道中央バス、ニセコバス）の路線図、運賃表などを掲載したバスマップと、それらの路線バスや岩内町の「ノッタライン」のダイヤを整理した総合時刻表を作成・広報している。</li> </ul> <p>■<b>自動者運転免許証の自主返納の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者による交通事故が多発している点からも高齢者の自動者運転免許証の自主返納を促す取組を実施し、公共交通利用への転換を図る。</li> <li>岩内町では、運転免許証の自主返納を促す取組として、自主返納した方へのノッタライン等無料乗車券の交付を行っている。</li> </ul> <p>■<b>地域を対象とした公共交通の乗り方教室等の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスの乗り方やお得な乗車券、バス運行の現状や役割など、バス等の公共交通の重要性を理解してもらい、便利に利用してもらうための講習会などを実施する。</li> <li>北海道中央バスでは、地域の方々に安心してバスを利用してもらうため、バスに関する出前講座を受け付けており、後志地域では 2014（平成 26）年に余市町（沢町第一区会）で開催している。</li> </ul>											
	<b>実施主体及び連携団体協力団体</b>	北海道、市町村、交通事業者										
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2022（令和4）年度</th> <th>2023（令和5）年度</th> <th>2024（令和6）年度</th> <th>2025（令和7）年度</th> <th>2026（令和8）年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>適宜、取組を実施</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度			適宜、取組を実施		
2022（令和4）年度	2023（令和5）年度	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度								
		適宜、取組を実施										

新旧対照表（案）

新

旧

P142

取組内容	北海道 後志地域 公共交通 活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■路線バスの利用者が大きく減少している中、公共交通の利用促進に向け広報活動などを実施するとともに、管内の市町村や他地域における先進的な取組事例を共有し、効果的な取組について検討を進める</li> </ul>
	北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>■バス利用に関するPR動画を作成し振興局のYouTubeチャンネルに投稿</li> <li>■職員を対象としたノーカーデーの実施</li> <li>■公共交通マップや総合時刻表の検討・作成</li> <li>■公共交通利用促進イベント・キャンペーンの検討・実施</li> </ul>
	市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公共交通マップや総合時刻表の検討・作成</li> <li>■高齢者に対する自動車運転免許証の自主返納後のスムーズな公共交通への転換に向けた取組検討・実施</li> <li>■公共交通利用促進イベント・キャンペーンの検討・実施</li> </ul>
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■携帯時刻表の作成、観光施設・公共施設等での配布</li> <li>■路線図や停留所時刻表のホームページでの公開</li> <li>■バスロケーションシステムによる位置情報の提供（道南バス）</li> <li>■「中央バスナビ」による情報展開（停留所時刻表、経路、所要時間、運賃検索等）</li> <li>■自治体の主催するバス乗り方教室等への協力</li> </ul>

（増ページ）

取組内容	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	2025 (令和7)年度	2026 (令和8)年度
	スケジュール 広報活動による公共交通の利用促進		取組事例の共有 新たな取組の検討		取組の実施
		総合時刻表・マップ等検討・作成、毎年度実施			
		自動車運転免許証の自主返納の促進に係る取組検討・実施			
		バスの乗り方教室等の検討・実施			





新旧対照表 (案)

新

旧

P144

取組内容	北海道 後志地域 公共交通 活性化協議会	■観光誘客と公共交通利用が一体となった利用促進策について、先進的な取組事例などの情報共有を図りながら、具体的取組を検討・実施
	国	■企画乗車券に係る認可業務及び、MaaS や AI オンデマンド交通に対応した新モビリティサービス推進事業補助金について助言等を行う
	北海道	■先進的な取組事例を情報収集し、協議会へ提供（効果的な取組の横展開を図る） ■バス利用に関する PR 動画を作成し振興局の YouTube チャンネルに投稿 ■公共交通利用促進イベント・キャンペーンの検討・実施
	市町村	■地域の観光資源やイベントと連携した企画乗車券の企画などによる、公共交通での来訪にインセンティブを与える取組を検討し、観光誘客と公共交通利用促進に取り組む ■公共交通マップ等の作成を検討し、観光客の利用促進を図る ■運行する公共交通の GTFS-JP データ整備を検討し、整備後は継続して更新を行う
	交通事業者	■公共交通利用促進イベント・キャンペーンの実施

スケジュール	取組内容	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	2025 (令和7)年度	2026 (令和8)年度	
	観光客等の公共交通利用へのインセンティブ付与による観光誘客と公共交通の利用促進	各主体での取組実施・推進					
	GTFS-JP データの整備によるシームレスな乗継情報の提供	データの整備検討・整備後の更新					

(増ページ)